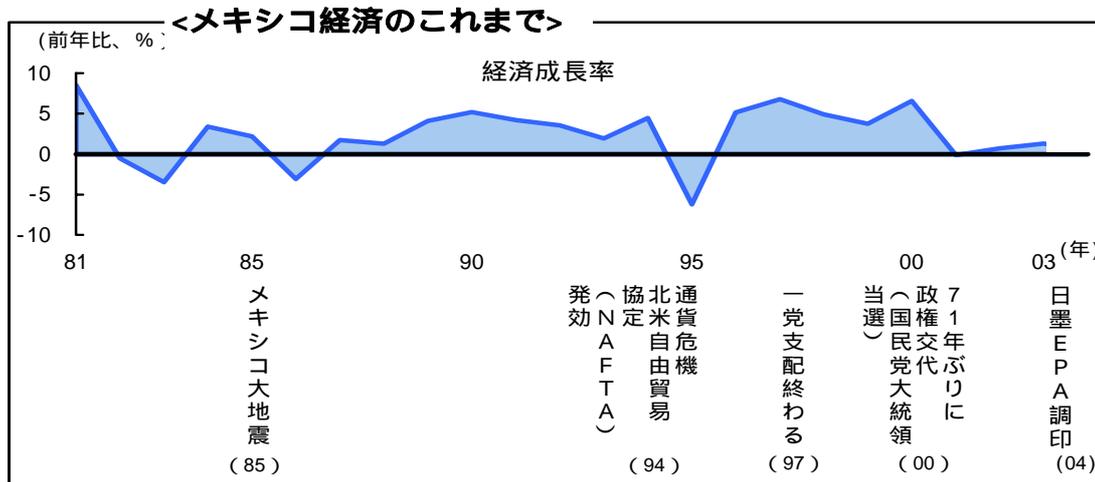


20 メキシコ

United Mexican States

<2003年>

人口	1億346万人 (日本の約4/5)	財政会計年度	1月～12月
一人当たりGDP	6,051ドル	為替制度	変動相場制
産業構造(GDP構成比)	1次産業 4.0% 2次産業 26.0% 3次産業 70.0%	通貨	ペソ 1米ドル=10.789ペソ
		面積	196.4万km ² (日本の約5倍)



メキシコの主要経済指標

		93～02年	2003年	2004年		2005年		民間機関
				政府	IMF	政府	IMF	
実質GDP	前年比%	2.7	1.3	4.0	4.0	3.8	3.2	実質GDP
鉱工業生産	同上	2.8	0.8	-	-	-	-	2004年
消費者物価	同上	15.6	4.5	3.9	4.4	3.0	4.0	平均 3.9
失業率	%	3.6	3.2	-	-	-	-	最大 4.0
経常収支	億米ドル		89	88.9	79.9	142.4	105.2	最小 3.2
(GDP比)	%		(1.4)	(1.4)	(1.2)	(2.1)	(1.5)	2005年
財政収支	億米ドル		39.3	-	-	-	-	平均 3.5
(GDP比、年度)	%		(0.6)	(0.3)	-	(0.1)	-	最大 4.1
政府債務残高	億米ドル		1,546	-	-	-	-	最小 2.7
(GDP比、年度末)	%		(24.7)	-	-	-	-	(26社)

(備考) 1. メキシコ銀行、メキシコ地理情報統計院、IMF “International Financial Statistics”による。
見通しの政府はメキシコ財務省 “Economic Policy Guidelines for 2005” (2004年9月)等、
IMFは “World Economic Outlook” (2004年9月)による。
2. 財政収支は、一般政府。2002年は、農業開発銀行 (Banrural) 解散の影響を除いたもの。
3. 政府見通しの消費者物価は、12月の前年同月比。

<2004～2005年の経済>

2004年は4%近い成長が見込まれる。民間機関26社の見通しは、2004年春時点の3.3%から、3.9%へと上方修正されている。個人消費の伸びが続き、アメリカ経済の好調を受けて輸出全体の約9割を占める対米輸出も増加、鉱工業生産は2004年前半に前年同期比3.5%上昇した。インフレ抑制のため流動性供給の不足分を増加させる金融引締め政策が継続され、政府証券28日物金利は2003年12月の6.06%から2004年9月には7.36%と上昇しているものの歴史的にみれば依然低水準にあり、年後半もアメリカ経済と連動して景気回復が続くものと予想される。

2005年も順調な景気回復が期待され、3%台の成長が見込まれている (IMF見通し3.2% (2004年9月) 民間機関26社の平均3.5% (2004年10月))